

第 2 回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和 6 年 1 月 25 日（木）13 時 30 分～17 時 05 分

2 決裁事項

(1) 人事案件

警察本部から、人事案件について報告を受け、決裁した。

(2) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

(3) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定

警察本部から、犯罪被害者等給付金支給裁定について報告を受け、決裁した。

(5) 岡山県警察職員定員条例の一部改正

警察本部から、岡山県警察職員定員条例の一部改正について報告を受け、決裁した。

(6) 警察職員の援助要求

警察本部から、警察職員の援助要求について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 岡山県警察関係手数料徴収条例の一部を改正する条例案

警察本部から、

- デジタル社会の形成を図るための規制改革を推進するためのデジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴い、警備業の認定証の再交付など、書面掲示規制の見直しにより廃止される事務の手数料を廃止する必要がある。
- 地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に鑑み、銃砲刀剣類所持等取締法で規定された猟銃の操作及び射撃の技能に関する講習の手数料を見直す。
- 手数料額の定期的な見直しにより、道路交通法に基づく道路の使用の許可の申請に対する審査等に係る事務の円滑な遂行を図るため、道路の使用の許可の申請に対する審査ほか 2 件の手数料を見直す。
- 各手数料の見直しに伴い、岡山県警察関係手数料徴収条例の整備を行うもので、令

和6年岡山県議会2月定例会に提出し、可決されれば、令和6年4月1日施行となる予定。

旨の報告を受けた。

委員が、

「デジタル利用で効率を上げる取組は、県民へのサービス向上にもつながっていくと思うので、しっかりと取り組んでいただきたい。」

旨を発言した。

(2) 学校警察連絡室の活動状況と今後の取組

警察本部から、

- 学校警察連絡室は、「教育県岡山」の復活と将来にわたる治安基盤を確立するため、平成26年の重点事業として時限増員の警察官を含めた体制を少年課に設置し、集中的な非行防止対策を実施してきたが、今年度末をもって事業を終了する。
- 主な活動としては、学校訪問等による学習環境の確保、問題行動の改善や、非行防止教室及び薬物乱用防止教室などの規範意識向上に向けた少年非行防止対策等を実施している。
- 非行情勢については、平成25年以降改善傾向が続いたが、令和4年には10年ぶりに刑法犯少年数、非行率が共に増加に転じ令和5年も増加傾向である。
- 今後の取組として、
 - ・ 学校警察連絡室の業務と少年サポートセンターの業務を統合した「健全育成対策室」を少年課内に新たに設置
 - ・ 学校訪問や少年への声かけ、非行防止教室等に従事する「健全育成推進専門員」の新規雇用
 - ・ 少年の利用が多いSNSを活用した動画広告による注意喚起を行うこととしている。

旨の報告を受けた。

委員が、

「この10年間で警察が学校に残したことは、必ず学校の中で受け継がれると思うので、今後は、違った形になっても引き続き支援をお願いしたい。」

旨を発言した。

(3) 令和5年中のサイバー犯罪対策推進状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和5年中の相談件数は5,025件で、過去最多であった令和4年の相談件数と比較して107件増加し、増加した多くは詐欺や悪質商法に関する相談であった。
- サイバー犯罪の検挙件数は211件で前年比97件の減少であった。
- 主な検挙事例としては、インターネットバンキング認証手続を悪用した不正送金に係る住居侵入及び電算詐欺事件や他人のSNSアカウントに不正ログイン等した不正アクセス禁止法等違反事件が挙げられる。
- 主な取組として、これまで行ってきたサイバーセキュリティコンテストの開催やサイバーパトロールモニターの委嘱、SNS等を通じたタイムリーな情報発信に加え、新たにサイバー事案指定捜査員制度創設やサイバーセキュリティ広報啓発プロジェクト

トを実施した。
旨の報告を受けた。

委員が、

「我々が生活している空間は様々なサイバー犯罪に囲まれていることをしっかりと認識しておかなければならないと思う。

また、いわゆる闇バイトを防止するための対策に力を入れて取り組まれているが、非常に重要なことであるので、是非継続していただきたい。」

旨を発言した。

(4) 令和5年中の110番通報受理及び初動警察活動実施状況

警察本部から、

○ 令和5年中の110番通報受理件数は196,938件で前年比16,969件増加したが、有効事案の受理件数が増加するとともに、いたずらや間違い電話等の非有効事案の受理件数も増加した。

○ 緊急配備は19件実施して4件を検挙、初動活動は118件実施して17件を検挙した。

○ 緊急配備等による主な検挙事例として、不同意わいせつ事件や逮捕監禁事件、傷害事件等があった。

旨の報告を受けた。

委員が、

「県民は110番があるから安心して暮らせると思う。

1日500件以上の通報を緊張感の中で、適切に対応している警察官に感謝と敬意を申し上げる。」

旨を発言した。

(5) 令和6年能登半島地震に伴う岡山県警察災害派遣隊の活動状況

警察本部から、

○ 令和6年能登半島地震の発生に伴い災害警備連絡室を設置し、石川県公安委員会からの援助要求に基づき、1月4日から1月31日までの間に、広域緊急援助隊警備部隊・交通部隊、特別生活安全部隊、特別自動車警ら部隊及び特別機動捜査部隊として、延べ580人を珠州市等に派遣している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「現地の活動等は、ありのまま報告を受けて、事実を正確に記録に留めておくことが重要であるとともに、その記録を消防や自治体等と共有して、将来への備えにしていきたいと思います。」

旨を発言した。

(6) 非違行為報告

警察本部から、非違行為について報告を受けた。

(7) 国家賠償請求控訴事件の終結

警察本部から、国家賠償請求控訴事件の終結について報告を受けた。

- (8) 国家賠償請求事件の終結
警察本部から、国家賠償請求事件の終結について報告を受けた。
- (9) 押収品窃取に係る和解及び損害賠償額の決定
警察本部から、押収品窃取に係る和解及び損害賠償額の決定について報告を受けた。
- (10) 警察学校初任科卒業式の挙行
警察本部から、警察学校初任科卒業式の挙行について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和6年2月1日（木）13時00分から開催予定